



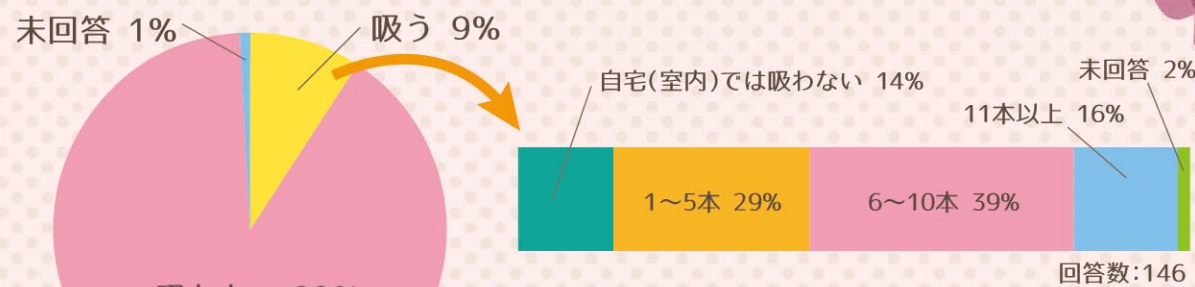
調査からわかったこと

北海道ユニットセンターのエコチル調査の参加者を対象とした質問票の調査結果の一部をご紹介します。

(なお、このデータは、2019年1月8日時点の回答に基づく暫定的な数字です。回答数:1,572)

最近、公共施設や交通機関、飲食店などでの分煙化が進んでいます。自分は喫煙しなくても、他人が吸うたばこの煙を吸う「受動喫煙」という言葉もよく耳にするようになりました。そこで今回は、6歳質問票から、「たばこ」に関する調査結果をまとめました。

1 あなたは、たばこを吸いますか？ 自宅(室内)で吸う本数は1日に何本ですか？

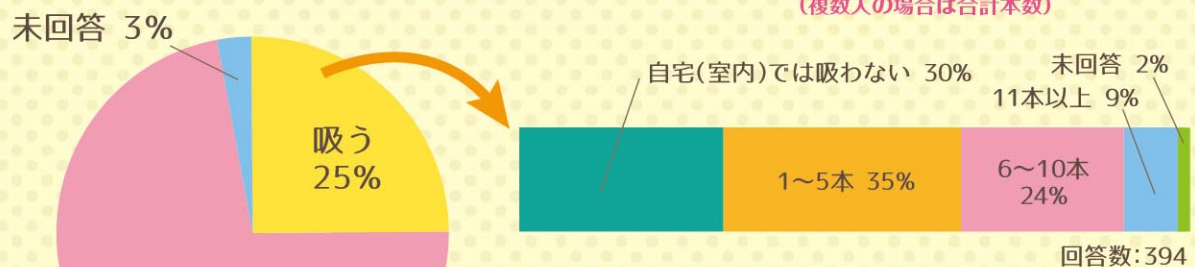


全体の90%が非喫煙者で、喫煙者は9%でした。喫煙者のうち、自宅(室内)で1日に吸う本数は、6~10本が39%と一番多く、次いで1~5本が29%でした。また、16%の人が11本以上吸うと答え、一方、自宅(室内)では吸わないという人が14%いました。



2 ご家族など同居している方は、たばこを吸いますか？ 同居している方が、自宅(室内)で吸う本数は1日に何本ですか？

(複数人の場合は合計本数)



喫煙する同居者(家族など)がいると答えた人は25%で、回答者本人が喫煙する場合の3倍近くになりました。一方で、自宅(室内)では吸わないと答えた同居者は30%で、回答者本人の場合の約2倍でした。1日に自宅(室内)で吸う本数は1~5本と答えた人が35%、6~10本が24%、11本以上が9%という結果になりました。

受動喫煙の健康影響をご存知ですか？ たばこの煙は70種類以上の発がん性物質を含むことから、他人のたばこの煙を吸うだけで、喫煙者と同じ病気のリスクがあるとされています。同じ空間では、完全にたばこの煙をシャットアウトすることは現実的には不可能なため、家族に気を遣って換気扇の下で喫煙していても、家族全員の健康に悪影響を及ぼすことになってしまいますね。

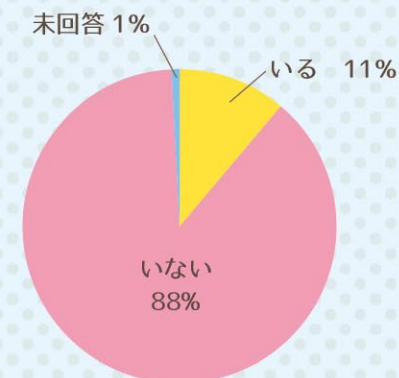
最近では、加熱式電子たばこなど、煙が出ない新しいタイプのたばこが登場しています。こうした新しいたばこの健康被害の評価もこれからであり、電子たばこなら害は少ないとは言えないようです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、受動喫煙対策が強化されています。ご家族がたばこを吸わない場合でも、できるだけたばこの煙の少ない生活を心がけるとよいでしょう。

(出典:日本医師会ホームページ)

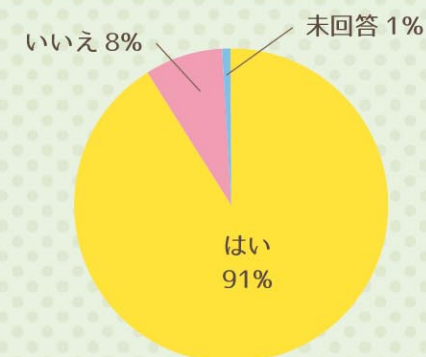
3 あなたやご家族など同居している方で、 お子さんの近くでたばこを 吸う方がいますか？

回答者を含めた家族全員が、喫煙はするけれども子どもの近くでは吸わないと回答した割合は、全体の88%となりました。子どもの近くでも吸う人は、11%でした。



4 あなたは、お子さんがたばこの煙を 吸わないように気をつけていますか？

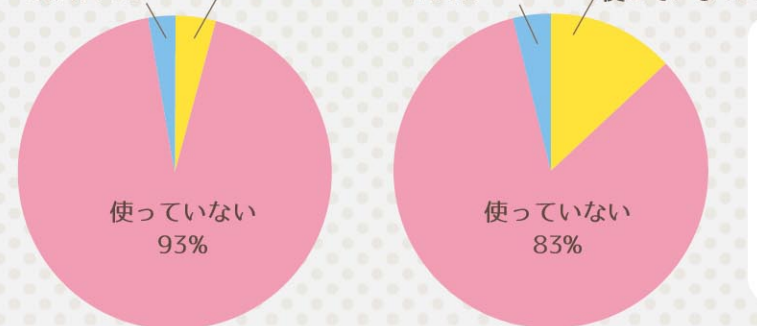
自宅にかかわらず、普段子どもがたばこの煙を吸わないように気をつけている人は、全体の91%に上りました。



5 あなたやご家族など同居している方は、 電子たばこを使っていますか？

【回答者本人】 未回答 3%、使っている 4%

【家族などの同居者】 未回答 4%、使っている 13%



電子たばこの使用状況に関して、回答者本人が使用していると答えた人は、4%でした。家族などの同居者の場合は13%と、少し増えています。